

# むらたまち 議会だより

The Murata Town Council Newsletter

Vol. 76

2011.2.1.

## 平成22年12月定例会 …2

学校教育環境調査特別委員会調査結果報告

… 4

平成22年第6回臨時会

… 6

ズバリ!町政を問う【一般質問 4人】

… 7

他



【沼田の七福神舞】

# 12月定例会

12月15日～16日

## 12案件を 審議決

### 平成22年 第7回 定例会

#### ■村田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

12月定例会は、15日と16日の両日の会期で行なわれました。この定例会では、学校教育環境調査特別委員会調査結果報告及び調査結果に基づく議員発議による決議、第4次村田町長期総合計画の基本構想、条例3件、TPP交渉参加阻止に関する請願、議員発議による環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉参加に反対する意見書の提案説明がありました。

審議の結果いずれの案件も、原案の通り可決決定されました。また、4人の議員が一般質問を行い、町執行部の見解を質しました。

#### 条例

#### 補正予算

#### ■平成22年度一般会計補正予算 (第4号)

#### 1億8千317万2千円減額

■農村地域工業等導入地区における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

農村地域工業等導入促進法に基づく減価償却の特例経過措置の期限到来に伴い改正するもの。

【討論なし・原案可決】

とするもの。歳入においては、主に町民税収入の動向による減額、臨時財政対策債の増額等を措置し、歳出においては、主に人事院勧告を勘案した条例改正に伴う人件費、都市計画街路沼足立幹線建設事業の減額、及び各種事業の精査等に伴う経費を措置するため補正するもの。

辺足立幹線建設事業債で16億円に算定があり、確定で19億6千882万5千円となつた。その後、9月、12月で増額補正を措置するため補正するもの。歳入は、町民税で3千6百万円の減額、地方交付税で7千67万円の増額、国庫補助金で街路建設費補助金（地域活力創造交付金事業）が1億450万円の減額、財政調整基金繰入金他の負担の軽減を図るために、平成23年4月1日から、従来まで12歳までであったのを15歳までに改正するもの。これによって、中学校3年生まで入院も外来も医療費は無料となる。

【討論なし・原案可決】

9万円の減額、地方交付税で7千67万円の増額、国庫補助金で街路建設費補助金（地域活力創造交付金事業）が1億450万円の減額、財政調整基金繰入金他の負担の軽減を図るために、平成23年4月1日から、従来まで12歳までであったのを15歳までに改正するもの。これによって、中学校3年生まで入院も外来も医療費は無料となる。

#### ■平成22年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

#### 0万2千円の減額理由は?

【討論なし・原案可決】

線の工事予算1億7千73万円の減額理由は? 都市計画街路沼足立幹線は、地域活力創造交付金事業による改良を計画したが、国の公共事業削減計画により、今回の大きな減額になつた。

村田町独自の進め方で達成していく。  
今後の地方交付税の伸びは?  
地方交付税は当初で16億2千2百万円を計上した。  
6月に算定があり、確定で19億6千882万5千円となつた。  
その後、9月、12月で増額補正をしている。現在の保留分は1億5千3百万円ほどである。

#### 答 2千2百万円を計上した。

課税所得の減少によるものがほとんどだ。給与所得で昨年度は111億円ほどあつたが、平成22年度は98億円と13億円ほど減額となつた。

【討論なし・原案可決】

減反の面積も更に増やされる。どう取り組むのか?  
各地域に村田の特性を作り、かした若いリーダーを作り、

【討論なし・原案可決】

今回の補正是、歳入歳出それぞれ907万1千円を追加し、総額を12億3千69万5千円とするもの。歳入においては、財政調整交付金144万5千円の増額と保険基盤安定負担金の決定に伴い、一般会計繰入金762万6千円を増額するもの。

# こんなことが決定されました。

## 平成22年度各種会計予算補正額

【単位：千円】

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	5,255,882	△183,172	5,072,710
特別会計	国民健康保険事業	1,221,624	9,071 1,230,695
	介護保険事業	894,646	8,448 903,094
企業会計	上水道事業（収益的支出）	507,734	21,723 529,457
	上水道事業（資本的支出）	163,611	0 163,611

■平成22年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）  
保険給付費等の経費を措置するため補正するもの。歳入歳出それぞれ844万8千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ9億309万4千円とするもの。

### 【討論なし・原案可決】

## ■平成22年度村田町上水道事業会計補正予算（第1号）

収益的支出は、受水費1千300万円を増額、職員給与費442万7千円を減額し、資本的支出は、項目内で既定予定額の組み換えを措置するため補正するもの。

### 【討論なし・原案可決】

## 第4次村田町長期総合計画の基本構想を定めることについて

### 平成13年2月22日付けで議決された村田町新総合計画の基本構想の終了に伴い、地方自治法

第2条第4項の規定に基づき、第4次村田町長期総合計画の基本構想を新たに定めるもの。

「みんなで育てる自分たちのまち」村田～暮らす人が創るまち～」をスローガンとして、まちの将来像を描き、「暮らす人が誇りを持つ」、「互いに支えあい、助け合う」、「世代を超えて伝える」まちづくりが基本理念として定義されている。その他、町の将来フレーム、基本構想の推進策、施策の大綱などが示された。

### 【討論なし・原案可決】

この案件については、主として次のような質疑が交わされた。

## 長期総合計画 質疑

### 答

次の段階の、これに基づいた基本計画を議案として議会に提出する考えはあるのか？

答 基本計画、実施計画は議決事項として規定されている。従って、議会にはこういふ議場での提出はないが、基本

計画、実施計画の作業完了は2月末頃を予定しており、その後、全員協議会の場で基本計画と実施計画を提示したいと考えている。

### 答

協働のまちづくりの「協働」という意味について質問する。

「協働」という言葉については、これから10年間の中で特に力を入れていきたいと考えている。町も住民の皆様と一緒に話し合いのもとに町づくりを進めるということである。

### 答

協働のまちづくりを、住民の意見を聞いて進めるといふことは理解できる。各種団体との意見交換会で70名、各地区説明会で66名、合計136名の方々のご意見、その前に住民のアンケートを実施して、それらの声を聞いて今回、基本計画や実施計画をつくるんだと思う。

これについては、単なる力をあわせて働く、あるいは活動するということだけではなく、他人のために働くという意味合いが強かつたのかなというふうに感じている。

「協働」の言葉については、共に働く、という意味合いが強かつたのかなというふうに感じている。

これからは、地域のコミュニケーションをとらないと、最初だけだと住民も集まらないと思う。何度もやっているうちにどんどん集まるようになると思うがどうか。

### 答

ユニティ単位のあり方あるいは町と住民の関わり方、町ができるべきことをしっかりと築いていく、つくり上げていくことが重要だうとを考えている。



ていることから、更なる教育的効果が図られるよう、町内企業等と連携を図り、教師への研修等を実施し、児童生徒の情報活用能力向上に努めると示されている。コンピュータは配備するにとどまらず、それをどのように活用するかが課題であることから、実効性のある企画立案が重要である。

#### ⑥特別教室

各施設とも、理科室、家庭科室、音楽室、コンピュータ室等が設置されている。

#### ⑦教育用備品

平成21年度に各小中学校に理科教材等が整備された。

#### ②教育に関する項目

##### ①給食提供方式

新設統合小学校（第一小学校含）の給食提供方式については、他町への給食提供委託を協議した結果、柴田町に給食提供を委託することとなつた。スケジュール的には、第一小学校校舎からの移転、旧校舎が解体されるため、第一段階として平成22年12月1日から、現在の第一小学校児童に給食が提供されている。

#### ③通学手段に関する項目

##### ①スクールバス運行

平成22年度から幼稚園児を対象に運行が開始されているが、平成22年度に1台追加配備し、迎する計画が示されている。スクールバスの運行は、安全で安心な運行を確保するため、適確な専門業者に委託する方向性が示されている。

#### ②給食施設

示されている。

#### ②通学路

通学路は、各小中学校でそれぞれ指定している。

#### ④学校教育に関する項目

##### ①校名

新設統合小学校の校名は、村田立村田小学校に決定、第二

##### ②通学路

通学路は、各小中学校でそれ

##### ③その他

基本的に、行政的な見地、教

育委員会、地域住民の考え、さ

らには議会等の考え方を取りま

けた。現在の方式により給食を

提供する施設については、村田

第二小、村田第二中学校共同調

理場は築35年、第一中学校調理

場は築29年が経過しており、經

年劣化が進行していることから、

給食センター建設までの維持管

理対策が課題である。

#### ③通学手段に関する項目

##### ①スクールバス運行

平成22年度から幼稚園児を対

象に運行が開始されているが、

新設統合小学校学区の児童を送

迎する計画が示されている。ス

ケルバスの運行は、安全で安

心な運行を確保するため、適確

な専門業者に委託する方向性が

いるが、解消には至っていない。

#### ⑤その他

基本的に、行政的な見地、教

育委員会、地域住民の考え、さ

らには議会等の考え方を取りま

けた。方向性を決定していく旨

の説明を受けた。

#### 6 少数意見の留保 なし

##### ①廃校跡地利用

震化工事、新設統合小学校のプ

ラス新設及び校庭拡張工事、給

食センター建設工事などの事業

が計画されているが、本町の次

代を担う子どもたちを取り巻く

学校教育環境施設整備に資する

企画を立案されたい。

#### 7 委員会所見（決議内容）

##### ①村田第一中学校の西側校舎耐震化工事、新設統合小学校のプ

ラス新設及び校庭拡張工事、給

食センター建設工事などの事業

が計画されているが、本町の次

代を担う子どもたちを取り巻く

支援の充実に向け、幼保一元化

等の国策の施策動向を見極めながら、有効的、効果的な内容となる企画を立案されたい。

多額の事業費が見込まれるが、国の補助対象となる割合が低いこと、建設場所には各小中学校との位置的な均等性への配慮や都市計画法による用途地域の制限があることなどから、今後の詳細な計画策定に際しては、財政調整基金の活用等を念頭とした一般財源の確保策及び給食セ

ンター建設後の安定的な財政運営に万全を期すとともに建設場所の選定に向け合意形成を図られたい。

（町長、教育委員会委員長）に對し提言すべきものと決定した。

（5）スクールバスの運行に際しては、隨時、点検・確認作業を実施し安全対策に万全を期すこと。

（6）校名については、地域で様々な意見があるという現実を直視し、意見を集約して地域の合意形成が図られたうえで結論を導きだすこと。

（7）学校教育は、ハード面の整備のみならずソフト面の整備も不可欠であることから、新設統合

小学校（村田小学校）の建設を契機に、教育用備品及びコンピュータの活用、並びに学校教育に携わる人的な配置等を充実させ、学校教育全般としての成果向上に努められたい。

#### （3）給食センター建設については、

（2）村田第二小学校については、建設年度が昭和46年度であるた

め、老朽化が顕著となり新設統合小学校との間に格差が生じて

いる。平成20年度に国の補助事

業により耐震化工事を実施して

いることも踏まえ、大規模な改

修、あるいは建替等の計画を策

定し改善に向け万全を期された

こと。

（4）学校教育に関する項目

（1）校名

新設統合小学校の校名は、村

田立村田小学校に決定、第二

小学校、第一中学校、第二中

学校の校名については変更するに

は至っていないが、保護者、地

域関係者等の意見を聴取する場

を設けるとの方向性が示されて

いる。



# ズバリ

## 一般質問

# 町政を問う



## 次期町長選に臨む決意と主なマニフェスト (町民に対する公約)について問う

佐藤年夫議員

町長答弁  
第4次長期総合計画に沿って  
将来の町政を築くため、  
町政運営の重責を担うため、  
意を決した  
平成19年5月25日、私の  
就任時点において、国の三位  
位一体改革により税源移譲

早いもので町長が町政を掌つて早や3年8カ月になりました。まず、尋ねたい。勿論、町長は、この町長選に二期目を目指して出馬なさると思うが、その決意の程を問う。そして、一期目の選挙で示したマニフェストと同じように、町長の町民に対する公約を示すと思うが、今の時点でどんなものを示すつもりでいるのか、現在の時点で考えている骨子みたいなものがあれば、示してほしい。勿論、去る11月5日に全員協議会で示した第4次村田町長期総合計画の基本構想が「私のマニフェストだ」と言われればその通りだが、町長選に望む基本的なマニフェストについて尋ねたい。合わせて、来年度の財政の見通しと主要な施策について問う。

されたものの地方交付税が減少する中、当時の本町は財政指標の実質公債費比率が22・3%と県内で一番高かった。まず、尋ねたい。勿論、町長は、この町長選に二期目を目指して出馬なさると思うが、その決意の程を問う。そして、一期目の選挙で示したマニフェストと同じように、町長の町民に対する公約を示すと思うが、今の時点でどんなものを示すつもりでいるのか、現在の時点で考えている骨子みたいなものがあれば、示してほしい。勿論、去る11月5日に全員協議会で示した第4次村田町長期総合計画の基本構想が「私のマニフェストだ」と言われればその通りだが、町長選に望む基本的なマニフェストについて尋ねたい。合わせて、来年度の財政の見通しと主要な施策について問う。

私はいかにしてこの財政健全化を実現し、未来に明るい展望が開けるかを最大の課題とし、町道及び街路工事の公共事業の見直し、入札制度の改革、行革による人件費の適正化、新設統合小学校の建築見直しに取り掛かり、また、真に町民の皆様が望んでいる施策の実現に取り組んできた。その中でも、出来るものについては速やかに取り組み、自らの給料の30%カットに加え、副町長、教育長にも給料カットに賛同を頂いたほか、町長専用車の廃止、公債費の削減を直ちに実行してきた。これらの努力が実り、財政的には平成21年度決算で実質公債費比率を18・3%、将来負担比率では平成19年度の245・5%から195・0%まで引き下

げることができ、一般会計の起債総額では平成18年度末時点から3億9百万円減った。まず、尋ねたい。勿論、町長は、この町長選に二期目を目指して出馬なさると思うが、その決意の程を問う。そして、一期目の選挙で示したマニフェストと同じように、町長の町民に対する公約を示すと思うが、今の時点でどんなものを示すつもりでいるのか、現在の時点で考えている骨子みたいなものがあれば、示してほしい。勿論、去る11月5日に全員協議会で示した第4次村田町長期総合計画の基本構想が「私のマニフェストだ」と言われればその通りだが、町長選に望む基本的なマニフェストについて尋ねたい。合わせて、来年度の財政の見通しと主要な施策について問う。

私はいかにしてこの財政健全化を実現し、未来に明るい展望が開けるかを最大の課題とし、町道及び街路工事の公共事業の見直し、入札制度の改革、行革による人件費の適正化、新設統合小学校の建築見直しに取り掛かり、また、真に町民の皆様が望んでいる施策の実現に取り組んできた。その中でも、出来るものについては速やかに取り組み、自らの給料の30%カットに加え、副町長、教育長にも給料カットに賛同を頂いたほか、町長専用車の廃止、公債費の削減を直ちに実行してきた。これらの努力が実り、財政的には平成21年度決算で実質公債費比率を18・3%、将来負担比率では平成19年度の245・5%から195・0%まで引き下

げができる。すると、財政健全化が22・3%と県内で一番高かった。まず、尋ねたい。勿論、町長は、この町長選に二期目を目指して出馬なさると思うが、その決意の程を問う。そして、一期目の選挙で示したマニフェストと同じように、町長の町民に対する公約を示すと思うが、今の時点でどんなものを示すつもりでいるのか、現在の時点で考えている骨子みたいなものがあれば、示してほしい。勿論、去る11月5日に全員協議会で示した第4次村田町長期総合計画の基本構想が「私のマニフェストだ」と言われればその通りだが、町長選に望む基本的なマニフェストについて尋ねたい。合わせて、来年度の財政の見通しと主要な施策について問う。

私はいかにしてこの財政健全化を実現し、未来に明るい展望が開けるかを最大の課題とし、町道及び街路工事の公共事業の見直し、入札制度の改革、行革による人件費の適正化、新設統合小学校の建築見直しに取り掛かり、また、真に町民の皆様が望んでいる施策の実現に取り組んできた。その中でも、出来るものについては速やかに取り組み、自らの給料の30%カットに加え、副町長、教育長にも給料カットに賛同を頂いたほか、町長専用車の廃止、公債費の削減を直ちに実行してきた。これらの努力が実り、財政的には平成21年度決算で実質公債費比率を18・3%、将来負担比率では平成19年度の245・5%から195・0%まで引き下

# ズバリ町政を問う

一般質問



## 読書・食育・生涯学習の推進を図れ

渡辺元道議員

### 1 子どもの読書促進について

子どもの読書離れが著しいといわれているが、改善される兆はあるか。

読書を促すプランを作成することについて質問する。

神奈川県伊勢原市では、子どもの読書離れを食い止めるための施策を盛り込んだ「子ども読書プラン」を作成した。

家庭や地域、行政が一体となって子どもが読書に親しめる環境づくりを進めようとするものである。

0歳から18歳くらいまでを対象に、基本目標を設定し、学校や図書館で行なっている活動を体系化し、民話、昔話の読み語りや紙芝居を実演する「地域文庫」を創設、優良図書の推薦リストを作成している。伊勢原市のような「子ども読書プラン」を策定することについて、考え方を問う。

### 2 健康と食育について

### 3 生涯学習の推進について

つつあることへの警鐘であ

り、それはそのまま現代の日本人への訓戒である。左

玄は、食を通じていかにすれば真の健康を実現できるかを、具体的に説いている。

日本人に最適な穀物は米で

あること。地域の食が、そ

こに住んでいる人の心身と

命をつくるのだから、地域

の伝統料理やその土地の季節の物を中心とするべきこ

と、等々。「健康ふくし祭り i n むらた」でも骨密度・

血圧・脳年齢測定などの予防コーナー、食生活改善推進員による指導、食事バラ

ンスガイドなど、食育に関

する啓発が展開された。そ

こで、町の施策を問う。

### 1 読書を促進する方策を検討

子どもの豊かな心を育むためには、常に読書に親しむ環境づくりが重要。今後、施設の最大活用を目指し、子どもたちの読書活動の充実を図るよう、促進する方策を検討する。

### 2 現在、村田町食育推進計画を策定中

町民の健康づくりを推進するため、食育に関する様々な取り組みを行なってき

た。今後、食育を着実かつ

実効性のある取り組みとし

ていくため、現在、村田町

食育推進計画を策定中であ

る。本計画では、家庭を中心

ていくため、現在、村田町

食育推進計画を策定中であ

り、①食育を通じた健康づく

め、②豊かな心を育む食育、

③地域食材を活用した食育、

④みんなで支えあう食育、

### 3 平成20年度総会から解散の方向だつた

生涯学習は、教育委員会において各種事業を展開して

おり、町民の要望に適切

に応えていると認識してい

る。なお、児童生徒意見発表会は教育委員会において

継続する。推進協議会は20

年度、21年度総会の折り解散の方向性を示した。

### 1 読書を促進する方策を検討

町長答弁

子どもの豊かな心を育む

ためには、常に読書に親しむ環境づくりが重要。今後、

施設の最大活用を目指し、

子どもたちの読書活動の充

実を図るよう、促進する方

策を検討する。

### 2 現在、村田町食育推進計画を策定中

町民の健康づくりを推進するため、食育に関する様

々な取り組みを行なってき

た。今後、食育を着実かつ

実効性のある取り組みとし

ていくため、現在、村田町

食育推進計画を策定中であ

り、①食育を通じた健康づく

め、②豊かな心を育む食育、

③地域食材を活用した食育、

④みんなで支えあう食育、

を積極的に取り組む。

### 3 生涯学習のまちづくりを積極的に取り組む

社会団体の指導・育成に

努め、人と人とのつながり、

地域の絆を深める手段とし

て取り組み、人を育てる心

豊かな、生涯学習のまちづ

くりを積極的に取り組む。

# ズバリ町政を問う

一般質問



- 1 竹の内産廃処分場、現時点での町の対応は？
- 2 入札制度、具体的に町内業者にどう配慮したのか
- 3 来年度の予算編成方針と、自主自立の財政計画は

上田 万作一 議員

- 2 ① 竹の内産廃処分場は一見被覆盛土が終了し、整地された様相を呈している。しかし報道や地元の認識は依然として問題を抱え、今後の課題は多いとどちらかのようにとらえ、どのような対応を進めているものか問う。
- 追質問① 焼却炉撤去はどのように進行しているか。
- 追質問② 処分場を経過観察の状態で放置されたのは付近住民や地権者の不安は解消されない。産直市場等では竹の内産と表示したもののが売れ行きが悪い等の風評被害も出ている。1日も早く安全を確保し住民の不安を解消すべきだ。強力に国や県に運動を展開しなければならないと思うがどうか。
- 追質問③ 町長は先程支障除去対策工事は平成21年で完成との見解を述べたが、町の再生検討委員会で議論の折、土地を公有化し、公用地として活用を図つてほしい旨の意見があつた。地権者にはそのような意向もあるようだが、町として県にその旨を積極的にアピールする考えはないか。
- 2 建設工事入札制度の内

- 容や考え方の一般質問の答弁によれば「町内業者に配慮した対応は、条件付一般競争入札参加資格で考える。」というものだつた。それ以降今日まで町内では様々な工事入札が実施されているが、具体的にどのように配慮し、その成果はどのようにあがつたものか問う。
- 追質問 実態として町内の多くの工事が町外業者が施工しているように感じ取られるのだが、どうか。
- 3 ① 来年度当初予算編成の時期だ。地方分権や地域主権改革などと呼ばれてはいるが、端的には、地方の智恵比べ、智恵の出し合いが一層求められる時代になつたと考へる。このような状況下、村田町はどのような予算編成方針を示したものが問う。
- 3 ② 自主自立に向けた今後の財政運営計画は。
- 追質問① 統合小学校開校に伴い関連して整備しなければならないものが数多くあるが、具体的対応は。
- 追質問② 国は一括交付金制度を導入し公共事業の補助金廃止の懸念もあるが、町はどうとらえているか。

- 1 平成21年3月末までの雨水浸透防止対策工事の竣工で見た感じは大変きれいになつたが、地下には基準値を超える鉛や、ヒ素などの物質、浸透水の温度が場外より20℃高い地点があるなど、多くの問題を抱えていると認識している。町としては、関係者会議等で協議しながら、必要な対策・対応は県に求めて参りたい。
- 2 県に要請しているが措置命令出す考えなく、代執行の対象とならない。
- 追質問② 安定には期間が必要。風評被害には現状をしっかりと伝えるしかない。
- 3 ② 要望してゆきたまちづくりを進めながら、歳入に見合つた歳出を基本に各種事業に対応する。
- 2 4月以降、村田町建設工事条件付一般競争入札実施要綱に基づき入札公告した工事は6件ある。工事内容により町内業者のみ2件、郡内の業者としたもの1件、

- 1 必要な対策・対応を求める  
2 総合評定値で差を設けた  
3 長総実施に予算の重点配分

町長答弁

1 平成21年3月末までの雨水浸透防止対策工事の竣工で見た感じは大変きれいになつたが、地下には基準

値を超える鉛や、ヒ素などの物質、浸透水の温度が場外より20℃高い地点があるなど、多くの問題を抱えていると認識している。町としては、関係者会議等で協議しながら、必要な対策・対応は県に求めて参りたい。

2 既存事業、新規事業を問わず、目的達成に何が最善か、最小の経費で最大の効果を生む方法であるかを精査、特に政策事業について事業の優先順位、町民に十分説明できるかを検証して予算計上。第4次長期総合計画実施に向け、予算の重点配分が必要と示した。

3 ① 既存事業、新規事業を問わず、目的達成に何が最善か、最小の経費で最大の効果を生む方法であるかを精査、特に政策事業について事業の優先順位、町民に十分説明できるかを検証して予算計上。第4次長期総合計画実施に向け、予算の重点配分が必要と示した。

3 ② 町民税の減収が平成21年度から続き、その他の歳入確保も非常に厳しいが、継続事業は引き続き実施し、協働のまちづくりを進めながら、歳入に見合つた歳出を基本に各種事業に対応する。

3 ② 町民税の減収が平成21年度から続き、その他の歳入確保も非常に厳しいが、継続事業は引き続き実施し、協働のまちづくりを進めながら、歳入に見合つた歳出を基本に各種事業に対応する。

3 ① 既存事業、新規事業を問わず、目的達成に何が最善か、最小の経費で最大の効果を生む方法であるかを精査、特に政策事業について事業の優先順位、町民に十分説明できるかを検証して予算計上。第4次長期総合計画実施に向け、予算の重点配分が必要と示した。

3 ② 町民税の減収が平成21年度から続き、その他の歳入確保も非常に厳しいが、継続事業は引き続き実施し、協働のまちづくりを進めながら、歳入に見合つた歳出を基本に各種事業に対応する。

3 ① 既存事業、新規事業を問わず、目的達成に何が最善か、最小の経費で最大の効果を生む方法であるかを精査、特に政策事業について事業の優先順位、町民に十分説明できるかを検証して予算計上。第4次長期総合計画実施に向け、予算の重点配分が必要と示した。

3 ② 町民税の減収が平成21年度から続き、その他の歳入確保も非常に厳しいが、継続事業は引き続き実施し、協働のまちづくりを進めながら、歳入に見合つた歳出を基本に各種事業に対応する。

# ズバリ 町政を問う

## 一般質問



# 地域の胎動を生かした「協働のまちづくり」 次の10年につなげる視点で

太田初美議員

# 2011年度予算編成について

厳しい行政運営が予測される中、2011年度の予算編成方針と歳入歳出の見通しを問う。

に認められ結審した。裁判に要した費用と何が原因と分析しているのか。

## 4 第4次村田町長期総合 計画策定について

変化の激しい時代にどの  
ような町をこの10年間で作

り上げていくのか。長期総合計画の意義は大変重要と

事業の基本計画案も提示す  
考える。住民説明会で重点

べきではなかつたか。

くりを進めるために、専任の担当者を配置するなど組

織作りが可能な地域から順次取り組むべきと思うが町

の考えは。  
追質問7 現行の自治法で

は、長期総合計画の基本構想は策定の義務付けと議会

の議決を定めているが、自台法改正後の総合計画の運

満洲に立派の総合書画の適用等どの様に取り扱つてい  
くのか。

## 1 事業の優先順位や必要性を 叮民ニ説明出来る予算

■良は説明出来る計算  
2住民が恩恵を受ける街路・  
防犯灯のLED化事業

3 判決で町の違法性が無いとの正当性が認められた

#### 4 住民懇談会を開催し理解を得られるよう進める

4 住民懇談会を開催し理解を得られるよう進める

**追質問33** 町県民税の均等割りに上乗せする課税で、5年間で3千万円の見込み。

環境税を負担する町民に分かりやすい街路・防犯灯のLED化と環境教育推進事業に取り組む。

**追質問 1** 国から地方財政  
計画が未だ示されておらず、  
かつ特別枠廃止によつて減  
額の可能性もある。

## 町長答弁

## 宮城・村田町発注工事 「無資格業者が落札」

**追質問6** 菅生地区の組織がうまく行政に参画していく実例があり、今後、地区的皆様と相談しながら組織作りを進めていく。

**追質問5** 広報むらたで経過報告掲載の実例もあり、それに準じて掲載する予定である。

が県から未だ示されておらず、内容が固まり次第関係者等にお知らせする。

# 常任委員会

# リポート

## 町税の賦課・徴収及び会計について

### 総務民生常任委員会

#### ■賦課・徴収について

（主要税目）●町民税 個人（普通・特別・年金特別徴収）・法

人●固定資産税●軽自動車税●たばこ税●入湯税●国民健康保険税（普通・特別徴収）●介護保険料（普通・特別徴収）●後期高齢者保険料（普通・特別徴収）

（決算額の推移）平成19年度、平成20年度と上昇傾向であったが、経済不況等の影響により法人税や個人所得の落ち込みで下落傾向にある。また、それらの要因等の煽りで平成19年度と平成21年度には大幅な不能欠損処理（主に固定資産税）を行つていい。

（国民健康保険税）平成21年度には滞納繰越分の大幅な不能欠損処理を実施しているが、収入未済額は増加傾向にあり、現年度分・滞納繰越分ともに徴収率が下がっている。

#### ■会計事務について

（月例出納検査）監査委員によ

り毎月25日に実施している。  
（提出書類）収支及び支出月報、運用資金種現在高・資金運用状況・貯金残高証明書・歳入調定書及び支出命令書  
（運用）村田町公金管理に関する指針をもとに地方自治法の趣

### 産業建設教育常任委員会

#### ■労働部門

1 有効求人倍率の推移（大河原管内）

平成22年9月の有効求人倍率は0・27%で、前年同時期と比べ0・13%増加したが、県平均の0・46%を大きく下回り、県内最低の水準となつてている。

2 勤労者就労対策

ハローワーク大河原と求人情報等を共有しながら窓口相談等を行つた。また、失業者への雇用対策として緊急雇用創出事業により臨時職員を採用した。

#### ■商工部門

1 工業団地の企業立地状況

村田工業団地に14社、村田北部に2社、沿辺工業団地に1社が立地している。

2 融資制度（平成22年8月31日現在）

村田町中小企業振興資金15件 債務残高2千256万円

#### ■観光部門

1 道の駅村田オーブン

平成22年4月10日に物産交流センターが新たに道の駅村田としてオープンし、連日大勢の人々が訪れている。

2 映画の撮影

昨年10月26日に村田町内4箇所で映画「エクリール・お菓子放浪記」の撮影が行われた。完成は今年2月頃となり、その後

### 試写会が行われる予定である。村田町の新たなPR材料になることを期待している。

#### ■委員会所見

金の管理に務めている。

#### ○委員会所見

納稅者の理解を得ながら徴収率が向上するよう町民の納稅意識の高揚を図ることは勿論、滞納を防ぐために、納期到来時期に未納となつた場合は速やかに原因を調査・分析して状況に応じた収納対策を講じる事が重要である。その後、進捗管理を徹底するなどして滞納の長期化、欠損処理とならないよう組織的に取り組みを展開する事とともに滞納者の支払能力等を分析し、能力に応じて適切な対処・処理を求める。

また、研修やジョブローテーションを通して、更なる町税吏員の意識改革を図り、対応の難しい納税者や行政処分等の執行を求める。

#### ○委員会所見

本年度は、4月に道の駅がオープンしたことや10月から12月まで開催された仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーンなどによ

り本市に訪れる観光客は増加している。しかし、食事を楽しみに訪れる観光客からは、「ご当地自慢の食べ物が少ないため、日増しに食べ物に対する要望が大きくなっている。最近、全国的にB級グルメがブームになつていることに鑑み、本町においても村田の特色を生かしたメニューを開発し、観光客等に提供する必要がある。また、道の駅の来訪者を蔵の町並みに誘導することで、みちのく宮城の小京都蔵の町村田をPRするとともに蔵の活用策の充実を図り、更なる地域活性化に努められたい。

# 議会日誌

- 11／1 大河原町外1市2町保健医療組合議会行政視察研修(群馬県)
- 11／4 仙南地域広域行政事務組合議会行政視察研修(栗原市)
- 11／5 全員協議会
- 11／8 村田町議会行政視察研修(岐阜県・石川県)
- 11／11 宮城県町村議會議長会議会広報研究会(仙台市)
- 11／15 仙南地域広域行政事務組合議会議会運営委員会(大河原町)
- 11／16 総務民生常任委員会・産業建設教育常任委員会
- 11／17 全国町村議會議長会議長大会(東京都)  
仙南地方町村議會議長会行政視察研修(広島県・山口県)(～20日)
- 11／19 仙南地域広域行政事務組合行財政研修会(大河原町)
- 11／22 村田町議会活性化調査特別委員会  
3町(蔵王町・川崎町・村田町)議會議員合同研修会  
宮城県地方議會議員セミナー(仙台市)
- 11／24 仙南地域広域行政事務組合議会議会運営委員会・全員協議会(大河原町)
- 11／26 第6回村田町議会臨時会
- 11／29 仙南地域広域行政事務組合議会議会臨時会(大河原町)
- 11／30 第9回村田町議会活性化調査特別委員会  
第9回学校教育環境調査特別委員会
- 12／10 議会運営委員会・全員協議会  
第10回学校教育環境調査特別委員会
- 12／15 第7回村田町議会定例会(1日目)
- 12／16 第7回村田町議会定例会(2日目)
- 12／21 仙南地方町村議會議長会議長会議(大河原町)  
仙南地域広域行政事務組合議会議会運営委員会・補正予算説明会(大河原町)
- 12／24 仙南地域広域行政事務組合議会定例会(大河原町)
- 1／5 議会広報編集審査特別委員会
- 1／14 議会広報編集審査特別委員会
- 1／19 村田第一小学校6年生議会体験
- 1／21 議会広報編集審査特別委員会  
仙南地域広域行政事務組合議会全員協議会(大河原町)
- 1／24 第10回議会活性化調査特別委員会・全員協議会
- 1／25 宮城県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会(仙台市)
- 1／26 宮城県町村議會議長会議員講座(仙台市)
- 1／27 第1回村田町議会臨時会
- 1／31 仙南地方町村議會議長会議(大河原町)



村田町議会議員一同

※公職選挙法により、政治家（候補予定者含む）は、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状など時候の挨拶状を出すことが禁止されております。

議会を傍聴しませんか

議会は誰でも傍聴できます〔定員20人〕

次の定例会は、3月3日開会予定です

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

## 編集後記

- 110一一年の幕開けとなりました。共に新年を寿ぎ、希望が大きく展開する年となることを祈念します。  
うぬぎ年に当たり、町も大きく躍躍できればと念願します。
- 昨年来、環太平洋経済連携協定(TPP)への対応が注視されております。村田町議会は全会一致で反対決議を行い、関係機関に意見書を提出しました。日本の食糧自給率は40%前後で推移し、OECD加盟30か国中27番目とか。日本農政の早急な確立を望みます。一次産業が元気になれば、日本経済活性化の一助になると思うのですが?
- 1月9日、恒例の村田町成人式が、新成人男64人、女75人計139人を迎えて町民体育館を会場に挙行されました。平成2年4月2日～平成3年4月1日までにお生まれの方々ですが、年々の減少傾向は残念なことです。
- 今年も、村田町伸展のため、協働の町作りに町民の皆様方と共に邁進して参りたく存じます。時節柄、自愛の上、議会活動へご支援方お願い申し上げます。